

## ミヤマアカネの産卵

10月になったばかりのまだ秋が深まったと言うには早い頃だが、この年は見かける虫の数が既にだいぶ減ったように思えた。そして今年はナツアカネの数も例年よりかなり少ない。アキアカネはこの中に混じっているのだろうか？

10月7日、庭の水溜りでミヤマアカネのカップルが産卵に励んでいた。

と、いうよりオスがメスの首根っこを(尾で)つかんで水面に叩きつけているように見える。確かに運転手はオスの方だがなんと乱暴なことかぎこちない。メスも尾を曲げたり伸ばしたりでタイミングを合わせるのに大変そうだ。たいそう疲れたとみえて、暫くして近くの平らの石に止まって2匹で休んでいる。真っ赤に染まったオスである。



ミヤマアカネ、ナツアカネ、アキアカネなどは雌雄協働で産卵作業をするので微笑ましい感じがする。オニヤンマのようにメスだけで悲哀を込めて??ひたすらに一点でエレベーターのように上下している種類もある。



上空でメスの産卵を見守っているオオシオカラトンボや近くの葦に止まって見守るアオハダトンボ。

田んぼのイネにつかまって体を半分水中につけたまま産卵するクロスジギンヤンマもいた。

それぞれの種類にあった産卵場所と光景である。